

# 英語で世界を旅しよう！

富山市内に住む留学生と小学生との交流企画「Hi! English 英語で世界を旅しよう!」を開催しました。今年は、モンゴル、クロアチア、ブラジル出身の富山大学で学ぶ3名の学生が講師となって、英語を共通語に旅の疑似体験をしながら各国の言語や文化を親子で体験していただきました。それぞれの言語で挨拶を試みたり、モンゴルのじゃんけん、クロアチアの国旗作り、ブラジルのお手玉遊びも楽しみました。「モンゴルのじゃんけん難しかったー!」「今日勉強したことを親子でシェアできました」などの感想が寄せられ、参加者は春休み初日に親子で充実した時間を

過ごせた様子でした。



◀今年の留学生講師は左からギルさん(ブラジル)、ルウンさん(モンゴル)、ドマゴイさん(クロアチア)。世界各地の留学生と触れ合うことができる貴重な機会だと参加者からも喜びの声が

**開催日:** 2024年3月25日(月) 10:00~11:30  
**場 所:** 富山市まちなか総合ケアセンター・地域連携室  
**参加者:** 小学生14名・見学ご家族19名

## 第3回ウェルビーイング研修

とやまし元気づくりプロジェクト

3月6日(水)に今年度最後のウェルビーイング研修が開催されました。富山市における市民の元気と健康づくりのコンシェルジュを育成するため、今年度はこれまで2回開催してきました。講師には、石川雄一先生(日本ヘルスサイエンスセンター)をお迎えし、グループワークをしながら話し合いました。石川先生からは、「毎回初めての方が参加してくれるので、とてもよいワークショップになっている」というコメントをいただき、富山でのウェルビーイングを実践する人や関心の高まりを感じます。

まちスポとやまが富山市から受託している「とやまし元気づくりプロジェクト」も今年度で最終年を迎えます。この動きを止めないよう今後も進んでいきます。



**開催日:** 2024年3月6日(水) 14:00~16:00  
**場 所:** 富山市まちなか総合ケアセンター・地域連携室  
**参加者:** 12名



ひだ財団  
いよいよ離陸です!  
本間



ふきのとう天ぷらを  
食べたい!  
ケルシー



長男が美容師目指して  
ひとり暮らしスタート!  
ちょっと寂しい  
五十嵐

最新の情報はこちら  
ホームページ更新中



http://machispo.org

さるぼぼコイン  
クレジットでの  
賛助会員入会が  
可能になりました!

詳しくは  
こちらを  
ご覧ください!

活動を応援して下さる方を  
募集しています。

個人年会費 1口 ¥3,000  
法人年会費 1口 ¥5,000

### 納入先

郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット  
 飛騨信用組合 松泰寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット  
 高山信用金庫 駅西支店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット

note ホームページのほか、noteやSNSも随時更新中。ぜひご覧ください

note ひだっち blog まちスポとやま

https://note.com/20121101/ https://www.hida-ch.com https://www.machispo-toyama.org



## ひだ財団設立記念 助成プログラム 報告会

一般財団法人ひだ財団として初めての助成金事業は、設立寄付金の一部を活用させていただき助成事業を実施することができました。ご寄付をいただいた皆様から感謝申し上げます。

今回の報告会では、それぞれ「子ども主体の自由な遊び場」「地域の防災力向上」について、申請のきっかけや団体としての課題感、実践と今後の展望をお話いただきました。詳細はひだ財団noteに掲載しております。

「こどもの基地ねこのひげ」はプレーパークを今後も開催しながら、子どもの主体が発揮できる場を地域ぐるみで守れるよう取組みを続けていく予定です。また、「TMBJ」は、報告会に参加した高山市社会福祉協議会と

まちスポと連携して、防災に関する緩やかな繋がりを目的とした情報交換会を開催することが決まりました。

ひだ財団は2024年度より新体制に移行し、いよいよ事業が本格始動します。応援のほどよろしくお祈りします。



- 【一般財団法人もちもちびと】  
開催日:2024年2月18日15:30~17:00 参加人数:16名  
場所:こどもの基地ねこのひげ(高山市神明町3丁目53番地)
- 【TMBJ(高山まち協防災士女子会)】  
開催日:2024年3月10日14:00~16:00 参加人数:47名  
場所:高山市役所201/202会議室

## みんなで食べよう冬休みプロジェクト

冬休みに家族と過ごせない子どもたちや高齢者の孤立の課題に対して何か活動できないかと事業指定寄付があったことがきっかけで実施することができました。感染症の影響で持ち帰りだけになっていた子ども食堂活動をこれを機に対面開催に踏み切ったり、これから子ども食堂事業を始めたいと準備していた団体ののはじめの一歩になったり。あたたかい食卓をみんなで囲むと、ほっとしますね。寄付や活動ボランティアなど様々な関わり方ができるので、興味のある方はぜひ今後の活動にもご注目ください。

大八まちづくり協議会  
「大八子どもランチ」  
開催日:2023年12月26日(火)  
場 所:東山小学校  
参加者:45名



みんなの食堂さくら  
開催日:2024年1月6日(土)  
場 所:一之宮公民館 和室  
参加者:45名

みんなの食堂まんさ  
開催日:2024年1月6日(土)  
場 所:レンタルスペース「萬紗」  
参加者:21名

## フレスポひな祭り

3月3日にフレスポひな祭りが開催されました。まちスポ飛騨高山では子供たちを対象に「お菓子のつかみどり」イベントをしました。初めて行うイベントということで最初は子供たちが来てくれるか不安でしたが、午前・午後と沢山の子どもたちが参加してくれて終始和やかな雰囲気で行うことができました。なかなか、箱に手を入れるのが怖い子もいてお兄ちゃん・お姉ちゃんが代わりにつかみに行ってくれたり、勇気を出して自分で

つかんだり、それぞれがひな祭りイベントを楽しんでくれたと思います。子どもたちの嬉しそうな、楽しそうな姿を見るとスタッフもまわりも自然と笑顔になれるとても素敵な空間でした。来年も開催できるといいなと思います。



開催日:2024年3月3日 会 場:まちスポ飛騨高山  
参加者:70組217名



飛び出せ★元気市民  
富山



総曲輪地区体育協会  
会長

なかばやし たつお  
中林 達男さん

旧総曲輪小学校体育館の活用から  
総曲輪を再び元気にしたい

総曲輪はいいところだと若い世代に知ってほしい。そして総曲輪をもう一度富山の街の中心地に。今回は総曲輪地区体育協会の会長を務める中林さんにお話を伺いました。

中林さんと総曲輪地区

総曲輪地区で生まれ育った中林さん。「小学生の頃はお城に野球やドッジボールをしに遊びに行き、自分の庭のような場所でした。」地元の魅力を伺うと、「富山城や総曲輪通りなど親しみが持てる場所が多く、地域との関わりが深いところだと思う。地域のためにという気持ちは最近感じるようになったが、昔から総曲輪地区の住民であることに誇りを持っている。」と話します。「誇りがあるからこそ総曲輪が昔のような街の中心の場になってほしいという気持ちは強いかもしれない。」と振り返ります。総曲輪地区体育協会で活動を開始したのは10年ほど前。同級生のサポート役として企画等に携わるようになり、現在は会長を務めておられます。中学の体育教師だった中林さん。当時は退職を迎え、時間に余裕が生まれた時期でもありました。「年を取るほど目標・目的がないと毎日が面白くない。やりがいや好きなことを見つけていかないと自分をもっと年寄りくさくなるような気がした。」中学時代に始めたサッカーを現在も続け、さらに、体育協会というサッカーで例えるなら第二のフィールドに出会うことができました。

ウォーキングフットボールとの出会い

体育協会の活動の一環として、中林さんは旧総曲輪小学校体育館の管理も担当されています。「体育館が地域に根差した場所であることを前提として、総曲輪地区に様々な人々が集うきっかけの場にしたい。」と力強く語ります。地区住民ではない方や団体の利用も大歓迎です。体育館の活用方法を考えていた時、ウォーキングフッ

トボールと出会った中林さん。障がい者サッカーに関わる知人に勧められて参加したところ、「これは面白い!」と感じたそうです。ウォーキングフットボールには「全員が歩く」、ボールを「取りに行かない」という基本ルールがあり、サッカー経験を問わず誰もが気軽に参加できます。またセルフジャッジを通じて、参加者同士が自然にコミュニケーションを取ることができるようになりました。中林さんは日本サッカー協会が開催する講習会に参加し、3月には体育館でイベントを開催しました(6/23にも開催を予定。詳細は下記)。富山県内でこの競技に参加できる機会はまだまだ少なく、継続的な開催を目指しているそうです。

仲間とともにこれからも

これまで企画したイベントでは、終われば即解散となってしまうことに寂しさを感じていました。終了後に座談会を行い、参加した感想を話してもらうなど参加者間で自由に交流できる場を設定したいと考えています。「座談会の中で若い世代に総曲輪地区や体育協会のことを知ってもらい、地域の力になりたいという人が生まれるとうれしい。」と話します。「場を作っても雰囲気づくりが難しい。楽しくやっているという気持ちがなければ活動は続かない。」これまでの経験から活動を続ける、そして広げることの難しさを感じてきた中林さん。いかに理解者を増やすかが大切だと考え、仲間づくりを意識して活動されているそうです。生まれ育った総曲輪地区で熱い想いをもち、勇気を出してふみだした一歩の先で出会った仲間とともに活動を続けてこれた中林さんを応援していきたいです。

(まちスポとやまインターン生 菊盛諒子)

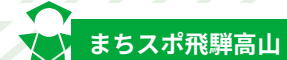
Information

総曲輪  
ウォーキングフットボール  
(歩くサッカー) 体験会

参加者募集!!

- 開催日時：6月23日(日) 10:00~11:30 (受付 9:30~)
- 場所：総曲輪地区体育館 (旧総曲輪小学校体育館)
- 定員：15名程度 (定員になり次第締切)
- 対象：小学生以上 (小学生は保護者同伴)
- 問合せ：総曲輪地区体育協会 中林さん (090-6272-1955)

企業と取り組む出張日本語教室  
& 防災教育 @未来創造協同組合



■飛騨地域で暮らす外国人のために日本語教師による日本語教育と、有事の際に身を守れるように防災士による防災教育を合わせた教室を事業所に出向き行っております。第6回目は、高山市内にある未来創造協働組合ご協力のもとミャンマー出身の飛騨地域で働く5名に受講いただきました。日本語教育では、自己紹介から始まり、1月1日飛騨地域でも激しい揺れがあった能登半島地震のときどうしたかを日本語教師と一緒に話しました。防災教育では、持ち出し用の防災カバンの中身を確認し携帯用トイレの使い方を学び、防災士とハザードマップで避難経路、避難所の確認もしました。受講者からは

「母国では経験したことのない災害の備えを学ぶことができとても勉強になった」との感想がありました。この事業は令和5年度岐阜県孤独孤立対策官民連携事業の助成を受け、2024年3月20日で実地終了となります。

有事の際に大切な命が守れるよう一緒に取り組んでくださる企業を募集しております。詳しくは、まちスポホームページをご覧ください。  
<http://machispo.org/companywithbousai/>

この事業は令和5年岐阜県 孤独・孤立対策官民連携事業の助成を受け今年度無料で開催し、3月20日で終了しました。

日時：2024年3月7日(木) 14:00-15:00  
会場：未来創造協同組合 受講者：5名(ミャンマー)

まちスポとやま



インターンの受け入れ  
人材育成及び研修に係る事業



愛知淑徳大学福祉貢献学部3年

菊盛 諒子 活動紹介

活動期間：2024年2月20日~3月7日(10日間)

私は大学で福祉を学んでおり、地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進に関心があります。地域資源の活用から魅力的なまちを目指すという視点に魅力を感じ、応募しました。能登半島地震の復興状況のヒアリングや総曲輪地区で活動されている方への取材と原稿作成など様々な経験ができた10日間でした。関わらせていただいた皆様と交わした言葉や気づきを今後の糧にしたいと思います。また既存のつながりを大切にしつつ、自分から行動して新たなつながりを持つこと、必要に応じてそのつながりを広げていくことの重要性を実感した期間でもありました。今回の経験を残りの大学生活、そして将来取り組みたいことを形にするために活かしていきたいと思っています。

新スタッフを紹介します!

新しくまちスポ飛騨高山のスタッフになりました、深澤真由と申します。高山で生まれ、高山で育ち、大学では名古屋に出ましたがこうしてまた高山に戻って来ました。山に囲まれているとほっとします(笑)。

そんな私がまちスポと出会ったのは高校生の頃でした。イベントに参加し、サポーター登録をしたのはいいものの、受験などがあり、あまり関わる事が出来なかった気がします。それでもその時のご縁から声をかけていただき、今こうしてスタッフになりました。いろいろなことや人に関わってみるものですね。まだまだ未熟な私ですが、大好きなこの地域のため、そしてそこで暮らす人々のために、出来ることを一つ一つやっていきたいと思っています。

みなさまどうぞよろしくお願いいたします。



深澤 真由 Mayu Fukazawa



真田 充 Mitsuru Sanada

卒業メッセージ

富山に来て2年、編入した富山大学を卒業すると同時に、スタッフとして約1年活動したまちスポを卒業することになります。私の大学生活は皆さんが想像するより地味なものだったかもしれませんが、大学で勉強できたことやまちスポに出会えたこと、そして、様々な方に巡り会えたことを振り返ると、非常に恵まれた大切な日々だったと感じています。まちスポでは「ブラとやま」をはじめとしたイベントや事務所で、

この会報を読んでくださっている方とお会いしたことがあるかもしれませんがね。皆様と出会えたことに感謝しています。また、私の「らしさ」を引き出し、支えてくださった、まちスポのスタッフの皆さんにも感謝です。私は4月から北海道に行くこととなります。2年で和歌山→富山→北海道と北上しており、このままのペースですと10年後には北極点に到達する計算になりますが、恐らく10年後も日本国内にいます(笑)。北海道でもまちスポで得られたことを活かして、夢を叶えられるように歩いていきます。本当にありがとうございました!

「ブラとやま」のコースの下見をする真田くん▶

